

OUCC OB 会 2019 年幹事会 議事録 (詳細版)

日時：2019年5月26日(日)14:00~16:30

場所：池田市立カルチャープラザ 研修室 A (〒563-0031 大阪府池田市天神 1-9-3)

作成者：主藤康太郎 (H27)、黒川顕稔 (H24)、小島直也 (H18)

参加者(敬称略、()内は入学年度)：近藤 時生 (S43)、升谷 保博 (S57)、入船 傑 (H13) (LINE 通話参加)、今岡 健吾 (H14)、小島 直也 (H18)、黒川顕稔 (H24)、鹿島進平 (H26)、小江悠達 (H27)主藤康太郎 (H27)、仙田直也 (H27)、(LINE 通話参加)

1 会計

1.1 2018 年度の会計報告 (小島より)

- ・ 資料をもとに説明
- ・ これまでのものからレイアウト変更した
- ・ 会員案内作成費が高くなった
 - 幹事会後に確認：作成費が高くなった理由は、印刷データの入稿後に会費振込先の誤りが発覚したため、再印刷が必要になったためであった。2019年はこのようなことが無いように、注意するように指示を行った。
- ・ 幹事会の開催に当たって補助1万円、会場費1500円かかっている。領収書受領後、計上予定。
- ・ 交通費は黒川に後で相談。(返信待ち)
- ・ 実働部隊謝礼金は上野と連絡が取れていないために空欄。連絡が取れ次第、計上予定。
- ・ 差額返金は振り込みすぎがあったので、返金。
- ・ 阪大坂作成に費用が2018年よりも大きくなった理由(別紙4を用いて説明。)阪大生協が発送の代行業務を行わなくなったため合い見積もりを実施。その結果、会員案内の発送で縁のある、イニユニック、サードパーティを利用することに。(小島)

1.2 2018 年度会計に関する質疑応答、意見交換

- ・ 実働部隊の謝金については払うべきもの。(小島)
連絡が必要であれば、連絡する。(黒川)
会計以外の人に連絡を入れる。(小島)
- ・ 例年はどのようにしているのか。(升谷)
会計の人に学年分まとめて渡している。(小島)
 - 会計引継ぎ費があるので、この後計上する。(鹿島)
- ・ 昨年から3通しか部数が増えてないが会員案内作成発送の費用が上がっている原因は。(今岡)
発送にかかるコストが増加したからだと推察できるが、確認させていただきたい。(小島)
領収書に誤りがないのは理解しているが、なぜ上がったが知りたい。(今岡)

- 阪大坂の印刷部数はどのように決定しているのか。(今岡)

265部がお金を払ってもらっている分、追加で5年、6年分、現役分を含めて365部となっている。

(小島)

承知した。(今岡)
- 会計は何月締め(升谷)

9月締めである。(小島)
- 会員は毎年20人増えているが、会員案内作成発送は増えていないけどなぜか。(升谷)

卒業生の人数分だけ会員が増えているが、返送が帰ってきて送っていない分を差し引きすると3通増となっていると考えられる。(小島)

返送分は把握できているのか。そこを明らかにする必要があるのではないか。(升谷)

問題認識しているが、効果的なアプローチは意思決定できていない。(小島)
- 相見積もり取った点に関して、大学生協からの2回目の見積もりでは、もう片方とほぼ同じ額が出ている。値段に大きな差がなく、実働の負担が減るのであれば、2つの業者に頼むよりも、1か所のできる方でいいのではないか。(升谷)

2回取った経緯は知らない。(鹿島)

どのような交渉をしていたか知らないが、来年の引継ぎにも関わるので、確認しておく。(小島)

➤ 幹事会後に確認：第一回の相見積もりの結果、阪大生協のほうが高かったため断りの連絡を入れた。その後、阪大生協が改めて、かつ自主的に見積もりを出してくれた結果、両者の見積額が同等に近づいたとのことでした。阪大生協から伝え聞くところによると、生協・依頼業者側の利益を圧縮したらしいです。
- 2社に依頼している件について、印刷業者から発送業者に直接郵送してもらっている(別紙4参照)ので手間は少ない
- 2019年の阪大坂の印刷・発想に関しては、相見積もりを取ったうえで、費用と負担を鑑みて、実施する方針とする。(小島)

実働部隊の判断で決定してもよい。(升谷)

2018年度の経緯について、編集の渡から確認してほしい。(小島)
- 口座別残高はどう見たらいいのか。(升谷)

うちと三井住友で管理している。(小島)

三井住友の残高は記入漏れの可能性が高い。(鹿島)

1.3 2018年度会計報告のまとめ

- 会員案内の送料が上がっている原因は何か確認する。
- 口座残高の訂正、未反映の項目を記入後、最終版とする。(小島)
- 口座残高のエビデンスもあわせて、最終的に金額があっているかを見られるようにしておいてほしい。(今岡)

承知した。必要であれば通帳のコピー残高をのせる。(鹿島)

1.4 2019 年度会計予算案

- ・ 現役助成金は黒字分を用いて助成するという観点からすると、2019 年は助成金の枠を確保できない。また、現役助成金・50 周年記念行事を経て以降も、会費納入者は減少しているのが現状である(小島)
活動助成を見送るとするのはほかの議題で出るのか。(升谷)
後の 8 の議題で話し合う。(小島)
- ・ 現役助成金のために使うための寄付を、OB ランでお願いすることを考えている。(助成金のためだけに使う)(小島)

2 銀行口座一本化

- ・ 振り込みの際に、振り込み人名義を指定するようにすると、振り込んだ人、会費の振り込み口数、寄付の有無を判別できて、いいのではないか。(小島)
- ・ 会計実務者が振り込みを行う際に、ネットバンキングにてできるようになれば便利である。ゆうちょは有料であり、三井住友 (web21 ライト) は契約手数料・月額利用料が無く無料で利用できる。(小島)
- ・ 法人用のインターネットバンキングに関して、無料でできる認識で間違っていないか。UFJ の場合は手続きがある認識がある。(升谷)
- ・ 三井に関しては Web21 ライトの利用はお金がかからない。(小島)
口座からの入出金は平日の 18 時までで通帳・カードが必要だったため、実務的に利用できなかった。そのため、すでにネットバンキング・サービスを利用していた。契約手数料や月額利用料が不要であったため、報告はしていなかった。2019 年の春ごろにサービス内容が向上したと連絡があり、これが小島の言っている web21 ライトに相当すると思う。(鹿島)
- ・ ネットバンキングを用いる場合は手間がかからず、寄付をしやすい。そのため、今回の提案はアグリーである。(今岡)
- ・ 三井に一本化する方向で決定する。その中で出てくる課題は解消していく。(小島)
- ・ 他に論点があるか確認したい。(小島)
- ・ 振込欄等のテストはした方がいいのではないか。
- ・ 会報案内に載せる振込欄の表示は実物をあげられないと、三井住友の方から指摘いただいている。(小島)
 - 各種ネットバンキング・サービス、ATM 上ではどう表示されるか試す。
- ・ 引継の際に、ゆうちょを解約するという認識でいいか(鹿島)
- ・ 解約は誰がやるか。(今岡)
- ・ 鹿島が行う。(鹿島)

- ・ 解約は簡単にできるのか。(升谷)
- ・ 記入する書類があるのであれば、対応する。(升谷)
- ・ 解約は無理に急ぐ必要はない。お金だけに移す対応でもよい。(小島)
 - 解約手続きが簡単であれば 2019 年度内に済ます、上記書類など必要であれば来年。

3 阪大坂編集の振り返り

- ・ 2017 年の阪大坂の原稿に抜け漏れがあり、2018 年はチェックシートを用いて確認を行った。チェック体制を強化したわけではなく、過去の引継の際に、チェックシートが抜け漏れていたために、チェック体制が疎かになっていたのも、それが元の状態に戻った、というのが実情。(小島)
- ・ 期限遅れについては、執行部の対応が遅れていたのが原因である。編集東さん忙しいので執行部で仕事を増やすことを検討している。(小島)
- ・ DropBox のアクセスできる人数・機器数が限られるようになったはず。もしも共同作業が難しいようならば、別のサービスに移行することも考えても良い。確認したうえで、お金を使うか。他のサービスに移るかを検討していただきたい。(升谷)
- ・ アカウントに紐づく端末の制限ができたが、フォルダにアクセスできる人の制限はないはずである。(今岡)
- ・ フォルダの管理者は誰か。(升谷)
- ・ 執行部で管理している。招待を行う形で付与している。(小島)
- ・ 引継は実働部隊管理にすることで抜け漏れがなくなることがあるのではないかという意見も出ている。ドキュメント、マニュアル管理は執行部がすべき側面もあると考えており、このバランスについては検討中。(小島)

4 関東支部よりの議事

- ・ 関東支部は会費を集めていないため、寄付で賄っている。(近藤)
- ・ 連絡の取り方を現在考えている。ML を使用するか検討中 (近藤)
- ・ 輪球班出身 OB が現役輪球班を応援に行く企画が上がっている。この点に関して、サイクリング部のツアー班が OB 会の主体的になっているが、OB 会の位置づけはツアー版の OB 会なのか、サイクリング部全体の OB 会なのか、どちらか？また、他の班もカバーする動きはあるか？(近藤)
- ・ 会の目的としては、サイクリング部全体の OB 会である。一方で、会員数や運営実務としては、ツアー班が担っている。小島と同年代でみると、輪球班の OB も名簿に登録されていることを確認している。(小島)
- ・ 班の間での交流がある年代と、そうでない年代もある。(?)

- ・ 学年幹事を通じて登録内容の更新が行われるはずだが、その機能が失われている。学年幹事がもう少ししっかりとしてくれるとよいが…。(近藤)
- ・ OB 会本会の HP の更新がおろそかになっている(近藤)
- ・ 執行部内の HP 担当者がやってくれない。OB 会の HP に挙げるべき情報が上がっていないのは問題意識ある。(小島)
- ・ OB ランの告知ページが毎年異なるドメインから提供されているため、情報が蓄積されていないという問題がある。OB 会の HP に専用でページを作成予定である。令和 2 年度からの導入を目指したい (小島)
- ・ OB 会は阪大学章・阪大名称を今まで通りに使用しても良い。阪大総務確認済み

5 OB ラン

- ・ 場所は神奈川県三浦半島
- ・ 10/12 (土) ~10/13 (日) (3 連休の土日)
- ・ コンセプト：関東民が気軽に参加できる OB ラン
- ・ メールのお報 (7 月) までにビラの作成をお願いしたい。最低でも宿とお金の情報がのってれば大丈夫。また、アクセスの良さを売らるなら宿も駅近を考えたらよいのでは (小島)
- ・ 6 歳 3 歳程度の子供をのせられる自転車用意できるか?、また車で追走可能かを確認してほしい(入船)

6 継続議題

- ・ 名簿管理の外部委託は次回総会を目途に執行部で検討する。
- ・ OB 会費 4、5、6 回生は免除としてきたが会費をもらってもいいのではないかと。5、6 回生になると社会人もいる、学生は半額の 1000 円にするなど検討。
- ・ 正直 3 回で引退してから OB 会として関わりが実働部隊以外少なくサイクリング部への熱が冷めてしまうこともある。このことを考えると、4 年生から OB 会員としても良いのではないかと。(升谷)
 - 個人的には検討に値する案と考える。現行の規約上は 4 年経過後なので、規約改正と併せて、検討してみたい。
 - 執行部としては、改選部会 (3 回引退時) や追いコンで OB 会について周知することを考えていたため、4 年生から OB 会員とする案とは、整合性も高い。
 - 併せて、実働部隊も 5、6 回ではなく 4、5、6 回生に担ってもらう方が、引継ぎ上の問題が生じにくく、人員にも厚みがあり良いのではないかと考えた。